

高石市議会議員 山敷めぐみ 議員活動報告



めぐみ通信

Vol.22

2016年 4月

地震・津波 高石の被害想定

P.2 公立幼稚園、さらに廃園？
P.3～4 3月議会トピックスなど

4月14日に発災し、その後も続いている熊本地震の被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

高石市でも今後30年間に70%の確率で発生すると言われている南海トラフ地震に対する備えが急務です。2013年8月20日に公表された大阪府の想定では、高石市の津波高は**最大で4.8m（高石市ではこれを受けて5mと想定）**、また、津波到達までの時間は**102分**とされています。さらに、2014年2月には堺泉北臨海工業地帯からの**油類の流出は1.7万キリットル**と発表されており、着火した場合は陸上火災発生の可能性もあるとのこと。たとえ津波想定高が30cmの地域でも**“津波火災”**の発生が危惧されます。津波警報が出された際には、高い建物に逃げる**「垂直避難」**ではなく、可能な限り浸水区域から東へ遠ざかる**「水平避難」**が必要だと山敷は考えています。

南海本線より海側はほとんど浸水想定区域です。山側でも市域の南に位置する場所などでは広く浸水が想定されています。2013年8月の大阪府の発表を受けて、高石市では**「津波ハザードマップ」**を地域ごとに作成・配布しました。お手元がないときは市役所や公民館などに置いています(市のウェブサイトにも掲載されています)ので是非ご確認ください。また、2014年3月に大阪府が出した避難者数の想定では発災1日後の本市で34,675人の避難者が想定されています。しかし、浸水区域外の避難所の収容定員は不足しています。さらに、津波避難ビルに指定している民間の建物や、一時避難場所となっている**「アプラ高石や各公民館などには備蓄品は用意されていない**ということです。一刻も早く十分な体制をとるよう要望を続けています。避難訓練も毎回同じように鴨公園に行くだけではなく、様々な想定のもとの工夫が必要だと訴え、山敷は今回「アプラホールでの避難訓練コンサート」を提言しました。観客の避難誘導を訓練するためにコンサートを行うもので、全国各地で開催されています。また、堺市では既に一昨年に発表されている「津波避難計画」が高石市では未だに発表されていません。そのことも何度も議会で取り上げ一刻も早く対処するよう求め、**「市民の生命・財産を守る**という行政の一番大切な仕事にもっと力を注いで欲しいと訴えています。

私たち市民も、日頃からできる限りの備えをしておく必要があります。家族で待ち合わせの場所を決めておく、連絡手段（NTTの災害用伝言ダイヤル171の利用方法など）を確認しておく、備蓄をしておくなど、出来ることから始めたいものです。

発行： 山敷めぐみ（所属会派：クリア高石）

事務所：高石市羽衣5-14-13

megumi28@gmail.com

072-262-3979

≫≫またまた公立幼稚園を廃園に！？≪≪

「子育てナンバー1を目指す」といいながら、子どもに掛ける税金を削るのは大矛盾！！

阪口市長は2011年度に**取石幼稚園**を取石保育所と共に「認定こども園」として民営化し、さらに2013年度に**高石幼稚園**、2014年度に**羽衣幼稚園**と、**立て続けに廃園**しました。公立幼稚園は、各中学校区に1園とする、ということでした。しかし、この3月議会に「**幼稚園再編等検討委員会**」の条例と予算が出されました。公立幼稚園をさらに“再編”しようというのです。園児数の減少を理由にしていますが、それは私が以前より主張してきた、ニーズの高い3歳児保育や預かり保育の実施をしていないことが原因です(今年の秋からようやく**預かり保育は実施**するようです。月～金まで、午後4時半まで、となるようです。詳細は未定ということです)。

私立は、公立ではなかなか取り組めない特色のある教育が出来たり、子どもの能力を早くから育てるカリキュラムがあったり、3年保育などに取り組んでいたりという魅力があります。

『保護者が子どもをどのように育てたいかによって、選択肢がきちんと用意されていることが大切です。』

高石市内には現在8園の私立の認定こども園があります。その中で3園の公立幼稚園を維持することは、市が子育てに直接責任を持って主体的に関わる姿勢を示すこととなります。逆に公立幼稚園をこれ以上廃止すれば『市は子育てには税金を使わず、直接は関わらない』ということが明確になります。それで子育て世代を呼び込めるでしょうか。私は、**公立幼稚園3園を地域の宝として大切に**していくことを求めています。

≫≫病児・病後児保育がようやく実現！≪≪

本来、子どもが病気の際は保護者が仕事を休んで側に付いて看病できることが理想です。しかし現状は厳しく、なかなか理想通りにはいきません。そこで必要とされるのが、病児・病後児の保育施設です。山敷は、近隣他市で実施されている状況を調査の上、高石市でも早期の実施を、と以前より議会でも求めてきました。今回ようやく実現の運びとなりました。1日の定員は3名とのこと。受け入れ方法などは今後検討され、施設を整備し秋頃からの実施となるそうです。場所は診療センター内となるようです。十分な体制でスタートして頂けるよう、改めて要望をしました。

お知らせ

山敷めぐみ事務所(伽羅橋駅前)は、原則として第2・第4土曜日の午後2時～、オープンしています。

その時々でテーマを決めて講師をお呼びして話をいただいたり、山敷が高石市政や議会の話をしたり、皆様とのフリートークをしたりしています(5月は議会報告会開催のため、事務所のオープンは1回だけとなります)。

5月21日(土)…第18回 クリア高石議会報告会 10時より羽衣公民館、14時より取石公民館

5月28日(土)…市内在住の若手弁護士をお招きして「第5回憲法カフェ」開催

山敷めぐみ事務所にて 14時～16時

≫≫平成28年度予算に反対しました≪≪

主な内容は以下の通りです。詳細は議事録でご確認下さい(市のウェブサイトか市役所情報コーナーにあります)。

1, 毎回指摘しているが、市の広報が自治会加入世帯にしか配布されていない現状は、広報発行規則第7条「広報は発行の都度、**市内各世帯**その他市長が必要と認める者に無料配布する」に反している。配布手数料233万3千円(9円/1部)が計上されているが、これを全世帯分に上積みし、自治会に加入していない世帯にも配布できる体制を整えるべき(自治会加入率は昨年度70.8%。ここ5年で5%低下)。

2, 高石市に天女伝説はないことは担当者も認めているのに、市制50周年記念事業として「**天女サミット**」が企画され、予算として37万円が計上されている。10月24日を「**天女の日**」として高石市が登録するとの説明もあったが、天女の衣装賃借料10万5千円の計上と併せて不要な予算である。

3, 同じく50周年記念としてシーサイドフェスティバルでの花火などに昨年より200万円多い1,000万円の補助金が計上されている。そもそも市民の要望ではなくブランド戦略として始まった花火。昨年の決算では25分間の花火に155万円、警備に約450万円、保険に約55万円が使われている。1,000万円を災害備蓄品の購入など市民生活のために優先すべき事柄に充当を。

4, 保健センターから市職員が全員撤退するために資料運搬業務料43万7千円が計上された。カルテ類などを全て市役所に運搬し保健師など職員もセンター常駐ではなくなってしまうとのこと。そんなことをしたら市の保健業務に支障をきたし、乳幼児の健診や高齢者などの相談業務にも大きな影響があることを懸念。移転せずにそのまま業務の継続を。※診療センターと母子健康センターに変更はありません。

5, 山敷が以前よりずっと反対しているSWC(スマートウェルネスシティ計画)の「**健康クラウド**」。国保加入者の年齢や性別、受診記録や健診結果、さらに介護情報などを関連づけて一民間会社に分析させるもの。国保料を安くすることが目的だったのに全く成果はなく、昨年度は**大阪府内で高石市の国保料が一番高かった**。このような「**健康クラウド**」**利用料**を529万2千円計上している。これはきっぱりと止めるべき。同じくSWCの一環で「市民が歩かされてしまう仕掛け」として作られた、水道水を流す「せせらぎ」の光熱水費283万5千円が計上されている。しかも半年間は**経費節減のため**水を止めている、という説明もあった。この「せせらぎ」は今すぐ廃止して、植樹をするなど他のことに転用すべき。

6, 広域的保育所等利用事業委託料として1,250万円が計上された。アプラの3階に、朝7時から子どもを預かって9時になったら各保育所にバスで連れて行く、帰りは17時に迎えに行つて19時まで預かる「**保育所等への送迎ステーション**」を作るものだが、**事前にニーズ調査もされず**、子ども達の安全確保や施設面での整備についても全く未定ということだった。市長が先進市(流山市)の視察でヒントを得たようだが、高石市の現状とは合致しない。

…他にも何点か指摘し反対討論をしましたが、反対は4名だけだったため予算は可決されました。

※阪口市長は「職員360人体制を目指す」として人員削減に前向きです。しかし、現場は権限委譲や新たな行政課題の出現などで余裕がないように見えます。市民サービスの向上を第一に考える職員が多くいる中で、人員不足のために対応できかねているのでは、と危惧します。

》》 3月議会トピックス 《《

☆子育てに施策の充実を求める請願署名が議会で賛成多数で採択されました！☆

山敷と寺島議員（クリア高石）と出川・明石各議員（共産党）が紹介議員となった署名です。小児救急医療の充実や公立幼稚園での3年保育実施、子どもの発達相談の充実などの請願内容に2,956名の署名が集まりました。採択された請願は市長に送付されました。市の対応に注目しています。

～その他、山敷は3月議会で以下の発言をしました～

【1】50周年記念事業募集について、市民に広く募集し14件もの応募があったのに全て不採択にした上に、副市長以下すべての部長が集まって審査した会議の議事録もなく、不採択の理由も不明。「行政としてあり得ないのでは？」との山敷の問いに対し「庁内の会議の議事録は作らないことになっています」との信じられない答弁が副市長からありました。この件に関しては現在、議事録の情報公開請求に対する“議事録不存在による非公開決定”に異議申し立てをしています。

【2】保健福祉部所管の子育て支援課が全て教育委員会に所管替えされるが、子育てへの視点を多角的に保つためにも子育て支援課は保健福祉部の所管で業務を行うべきでは？

【3】高師浜線のラッピングに600万円！？…の補正予算議案が撤回され280万円に減額??

高師浜線の車体に工場夜景の写真をラッピングして走らせ高石市の認知度をアップさせる、という名目で600万円の補正予算が議案として提出されました。しかしなぜか「諸般の事情により」という理由で撤回されました。ということは、当初は余分な予算が計上されていたということになるのでは？と指摘し、費用対効果も明らかでは無いことに280万円もの税金を投入することには反対しましたが、賛成多数で可決。今年10月頃から6ヶ月間、ラッピング電車を走らせるそうです。

【4】高師浜駅前で行われた臨海地区への通勤バス運行社会実験について

昨年11月から今年1月まで行われた社会実験。結局乗車率が当初見込みの約5%（のべ定員数52,668人に対し乗車数2,473人）しかなく、まったくの失敗に終わりました。通学時間帯に子どもたちに危険な思いをさせてまで実験する必要があるのでしょうか。甚だ疑問です。

羽衣駅東側再開発事業の説明が2月24日開催の議員全員協議会で行われました。23階建(7.9メートル)のビルが2019年春に竣工予定という説明でした。広く地域住民へも説明会を開催すること、また、地権者の方々のご希望に出来るだけ沿う形でご納得頂けるよう継続して取り組むことを要望しました。 【議員全員協議会資料より】

階数別面積

| 階 | 主要用途 | 延床面積(㎡) |
|-------|--------------|------------------|
| 塔屋 | 機械室 | 約73 |
| 20～23 | 住宅 | 約679 (計 約2,716) |
| 19 | 住宅・集会室 | 約679 |
| 4～18 | 住宅 | 約679 (計 約10,186) |
| 3 | 住宅・集会室 | 約682 |
| 2 | 自転車置場・機械室・店舗 | 約889 |
| 1 | 店舗、子育て支援センター | 約1,373 |
| 地下1 | 受水槽等 | 約136 |
| 計 | | 約16,734 |

(機械式駐車場(別棟・立体式):1,380㎡)
(1階、2階には住宅共用部分を含む)

住宅建設の概要

| 住宅の種類 | | 戸あたり床面積 | 所有形態 |
|-------|------|-----------|------|
| 型 | 戸数 | | |
| 2LDK | 42戸 | 約53㎡～約73㎡ | 区分所有 |
| 3LDK | 83戸 | 約70㎡～約87㎡ | 区分所有 |
| 4LDK | 20戸 | 約101㎡ | 区分所有 |
| 合計戸数 | 145戸 | 平均約76㎡ | |

WEB サイトもご覧ください

<http://yamashikimegumi.com/>